

# Breeze through the Pines 松風

海を眺め、遠く水平線の向こう側、何処か他所の国があることを知識として知ってはいても、実感として具体的に思い描くことはできません。

四方を海に囲まれた日本人の性なのか、私に想像力が足りないだけのことでしょうか。

私にとって海岸線は既知と未知の境界線であり、海は未知なるが故に美しく、また恐ろしくもある場所です。

能の舞台に鏡板と呼ばれる板張りの背景がありますが、そこには大きな老松が描かれています。

松の木は四季を通じて葉を落とすことがない常緑樹であり、繁栄を表すおめでたい樹木です。

また羽衣や高砂、松風など多くの演目で舞台となる砂浜の様子を示す舞台装置でもあるのでしょうか。

常世と現世の交わりを描く能の演目において、砂浜はまさにその境界として役割を果たしているわけです。

松の木は古来より人ならざるものが宿る依代として考えられてきましたが、

海岸に生える松の木一本一本に何かしらが宿るとした時、居並ぶその姿は旅人の無聊を慰め、

未知なる海への不安を和らげる頼もしさを感じさせます。

近年変化が著しい海岸線の風景に、心を遊ばせる景色を求めて集め歩いた写真です。



左:新潟県村上市お幕場 2011年 右上:三重県鈴鹿市鼓ヶ浦 2012年 右下:滋賀県大津市堅田 2010年 表面:三重県津市江戸橋 2007年

## ギャラリートーク「松林から風景について考える」

作家自身が撮影を通して風景について考えたことなどをお話します。

予約不要、無料。当日お時間にお越しください。

開催日/11月23日(水・祝) 14:00~15:00 会場/2階 創造支援室C1・C2

※定員60名。定員になり次第、入場をお断りする場合があります。

## 作家プロフィール

平松 佑介 HIRAMATSU Yusuke

### [略歴]

1978年 三重県津市(旧安濃町)出身

2001年 大阪芸術大学写真学科卒業

2006年 大阪芸術大学写真学科研究室勤務

2010年 神戸芸術大学メディア表現学科 非常勤講師(〜2018)

2012年 大阪芸術大学写真学科 非常勤講師

2013年 大阪府高齢者大学講師

2016年 CANON EOS学園講師



### [展示]

「時の封入 平松佑介 雨宮智恵美 二人展」New Osaka Hotel, 大阪, 2010

「Seoul Photo 2010」COEX, Seoul, 2010

「愉悅の園で」大阪ニコンサロン, 2010

「愉悅の園で」銀座ニコンサロン, 2009

「In the Pleasure Garden」Gallery Illum, Seoul, 2009

「ヤングポートフォリオ展」清里フォトミュージアム, 2003

「ヤングポートフォリオ展」清里フォトミュージアム, 2002



東大阪市文化創造館  
HIGASHIOSAKA Cultural Creation Hall

〒577-0034 東大阪市御厨南二丁目3番4号

休館日: 第2火曜日 近鉄奈良線 八戸ノ里駅 北約200m 徒歩約5分

※駐車場(有料)は限りがございます。できるだけ公共交通機関でお越しください。

【お問い合わせ先】

TEL: 06-4307-5772 (受付時間: 9時~20時)

<https://higashiosaka.hall-info.jp/>

※今後の状況により受付時間を変更する場合があります。

※当日は体調管理にご留意いただき、マスク着用の上、ご来館ください。